



令和7年5月26日
福岡ひびき信用金庫

宮田建設株式会社との サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

福岡ひびき信用金庫（理事長 井倉 眞）は、地域のカーボンニュートラル達成に向けた取り組みの一環として、宮田建設株式会社（代表取締役 横井 成昭）と、「ひびしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下ひびしんSLL）※¹」の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

ひびしんSLLは、達成すべき目標を二酸化炭素（CO₂）排出量の削減に限定し、脱炭素化に取り組む地域企業を資金調達面と各種サポートで支援するものです。

福岡ひびき信用金庫は、地域金融機関としての責任を果たすため、地域の皆様とともに地域カーボンニュートラル達成に貢献してまいります。

記

【契約内容】

実 行 日	2025年5月23日
期 間	2年
資 金 使 途	事業資金

【企業概要】

企 業 名	宮田建設株式会社
所 在 地	福岡県北九州市八幡西区則松4丁目3番10号
代 表 者	横井 成昭
事 業 内 容	総合建設業
資 本 金	39.5百万円
設 立	1971年7月23日

以上

※1 ひびしんサステナビリティ・リンク・ローン

本商品は、サステナビリティ・リンク・ローン原則※²等に基づき、カーボンニュートラルに特化したローン商品であり、地域企業の脱炭素経営をサポートし、お客さまとともに地域脱炭素達成の実現に貢献することを目指しています。

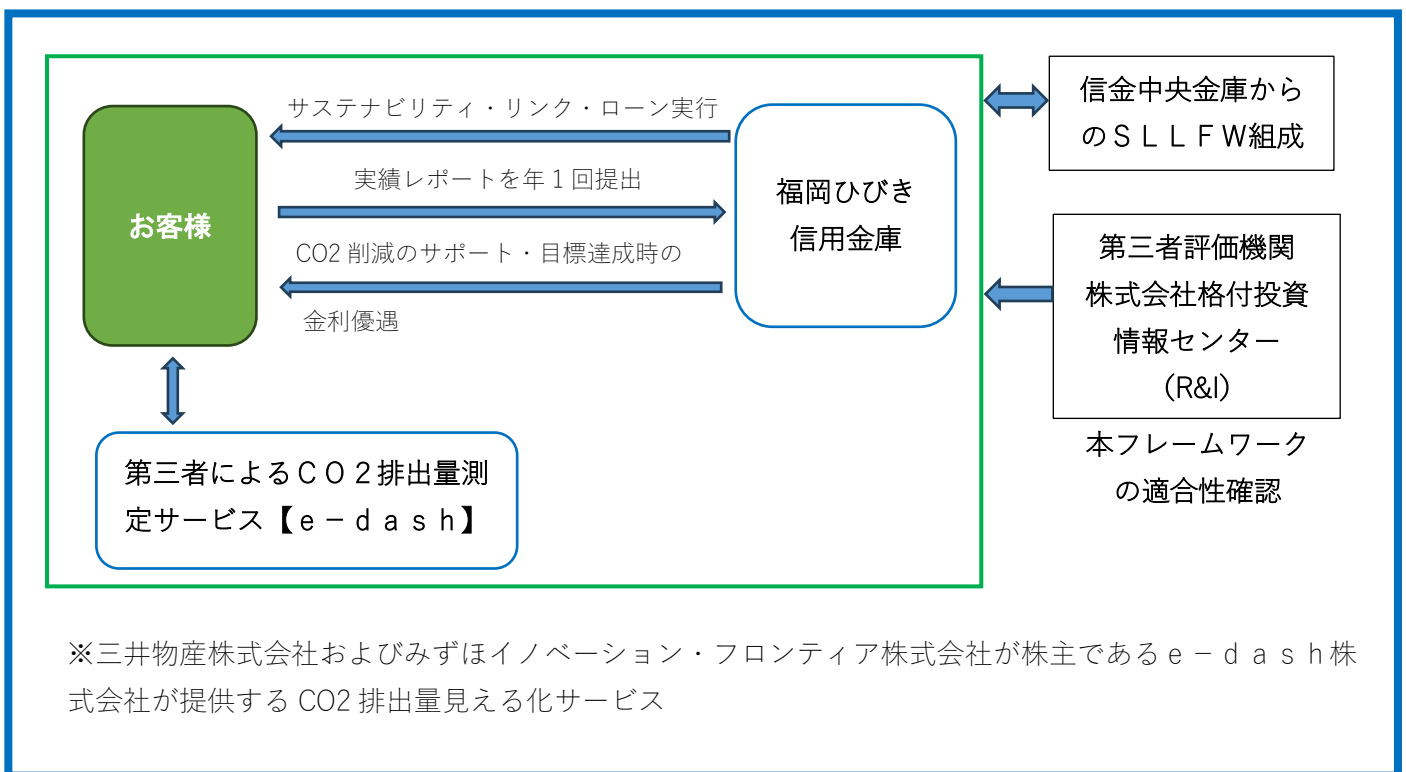
地域の中小企業においては、自社の脱炭素の取り組みについて各種認証の取得や第三者の客観的な評価を得ることへの負担が大きいという課題があることから、福岡ひびき信用金庫では、お客様のCO2排出量の測定やレポートを低負担で行える「サステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク」を採用しています。

当金庫が採用したサステナビリティ・リンク・ローンフレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）よりサステナビリティ・リンク・ローン原則等に適合しているとの意見を取得しています。

※2 サステナビリティ・リンク・ローン原則

サステナビリティ・リンク・ローンは、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促し、支援することを目指すものとして、世界的な金融機関の代表で構成される作業部会によって策定された原則。

ひびしんサステナビリティ・リンク・ローンフレームワーク（ひびしんSLLFW）図



※三井物産株式会社およびみずほイノベーション・フロンティア株式会社が株主であるe-dash株式会社が提供するCO2排出量見える化サービス

<本リリースに関するお問い合わせ>
福岡ひびき信用金庫 経営企画部
サステナビリティ推進室
TEL：093-661-2413（9時～17時）
担当：小茅 黒木

2025年5月23日



宮田建設株式会社

ひびしんサステナビリティ・リンク・ローンの取り組みについて

福岡ひびき信用金庫
中央営業本部

福岡ひびき信用金庫は、2024年10月10日、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、CO2排出量（総量又は原単位ベース）の削減率をKPIとして策定した融資フレームワーク「ひびしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下、ひびしんSLL）」が、「2025年度版サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2024年版」に対して適合的であるとの評価を取得しています。

【ひびしんSLLフレームワークに対するR&Iの評価について】

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2025/05/news_release_suf_20250516_jpn_24.pdf

1. 借入人の概要

（1）事業概要

事業者名：宮田建設株式会社

代表者名：代表取締役 横井 成昭

本社所在地：北九州市八幡西区則松4丁目3番10号

大分営業所：大分県大分市羽屋新町2丁目1番8号

設立年月日：昭和46年7月23日

役職員数：20名

ホームページ：<https://www.miyata-kk.com/>

【主な許可等】

* 福岡県知事（特 - 4）第32172号

建築工事業一式	大工工事業
土木工事業一式	建具工事業
水道施設工事業	内装仕上げ工事業
とび土工事業	塗装工事業
防水工事業	解体工事業

* 一級建築士事務所登録福岡県知事 登録（第120409号）

宮田建設株式会社は、昭和40年八幡西区黒崎で建築業として創業、昭和46年に法人化。創業以来、地域密着の建設会社として・数多くの建築実績を持ち、堅実経営でステークホルダーからの信頼も厚い。

同社は、環境省の環境マネジメントシステム「エコアクション21」※1を2010年に認証取得。省エネ・廃棄物削減・CO2排出量削減など環境経営に早くから取り組み、自社倉庫屋根上にはFITを活用した太陽光発電で再生可能エネルギー創出を行うなど、持続的に地球温暖化対策に取り組んでいる。

【本体外観】



【ロゴマーク】



ロゴマークは会社のスローガンとしての「人と自然の共生」を表し、大地の緑、太陽のオレンジ、空の青、心のマゼンタ、人と人が向かい合う形、宮田の「M」で構成されている。

エコアクション21の「環境経営レポート」で環境方針、環境保全への行動指針を公表。代表者が目標にコミットしており環境経営の取組は組織的である。



※2 エコアクション21とは

エコアクション21は、環境省が策定し普及を進めている「環境経営システム」です。

1. 中小事業者の実務負担にも配慮した考え方、取り組み例を示して、取り組みやすい環境経営システムです。
2. 環境への取組結果を「環境経営レポート」としてまとめ、公表します。このことで「透明性の向上」「社会的信頼が高まり」「自社の企業価値」が向上します。
3. PDCAのサイクルを廻して、スパイラルアップ(継続的改善)の取組を念頭にガイドラインが設計されている。認証・登録事業者は、審査員より審査の際、様々な助言を得ることができます。

■宮田建設株式会社の環境方針

＜基本理念＞

「建物を建てる」ということの意味を私たちは日々考え続けなければなりません。

建物を建てる時、私たちはたくさんの資源を使います。

それと同様に、たくさんの人が関わります。

私たちは「建設」という業務を通じて自然との共生を目指すことを使命とし、建設材料や副資材等の

グリーン購入に取り組みます。

■環境保全への行動指針

私たちは、建築設計施工を通じ、省エネ・省資源に配慮した提案や活動を致します。

①具体的に次のことに取り組みます。

- * CO2 削減効果の高い建物の推進。
- * 長寿命建築や ZEH・ZEB の推進。
- * 産業廃棄物の削減はもとより分別を徹底してリサイクルを推進します。
- * グリーン購入の推進。
- * 水や電気の使用削減・省エネ運転等の使用エネルギー削減に努めます。
- * IT 活用等によるコピー・プリンター用紙の削減。

これらについて、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

②環境関連法規を遵守し、環境保全のレベル向上に努めます。

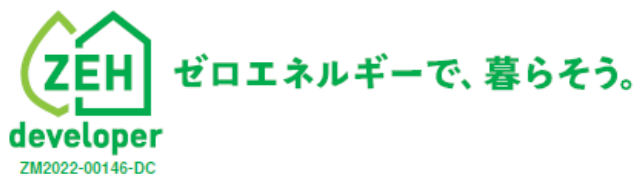
③環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

(2)サステナビリティ

①本業での取り組み

宮田建設株式会社は、本業である建築工事で日本政府の 2050 年カーボンニュートラル達成に貢献するため、省エネ水準の高い建物施工に取り組んでおり、環境性能の高い建物を建築する認証「ZEH ビルダー（戸建て）」、「ZEH デベロッパー（共同住宅）」に登録されている。

建築業界を取り巻く環境は、国の住宅・建築物の脱炭素施策として「2030 年度以降に新築される住宅・建築物について、ZEH・ZEB 水準の省エネルギー性能の確保により GX を推進し、誘導基準・住宅トプランナー基準を引き上げるとともに、省エネルギー基準の段階的な水準の引き上げを遅くとも 2030 年度までに実施する。」とあり、建築物省エネ法の改正（省エネ基準の適合義務化）により、2025 年 4 月より適合義務の範囲がすべての住宅・建築物へと拡大。今後適合基準の引き上げも予定されるなど技術の向上が求められている。同社が賃貸物件として 2024 年竣工した「バースプレイス M 折尾」は、福岡県内で初めての ZEH-M の中高層賃貸物件として建設。同社の施工能力の高さを示した。本物件は、BELS※²で 1 次エネルギー消費 35%削減の認証を取得。この実績を生かし、現在福岡市中心部で中高層 ZEH-M を建設中であり、ZEH-M 建設技術は同社の強みとなっている。



宮田建設株式会社は、ZEH 水準の省エネ基準を満たす戸建て・共同住宅を施工出来る建設業者である ZEH ビルダー・ZEH デベロッパーとして登録されている。



※2「BELS」とは

BELS（ベルス）は、Building - Housing Energy-efficiency Labeling System の略で、建築物の省エネルギー性能を表示する第三者認証制度です。2016年4月より、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）において、不動産事業者等は建築物の省エネ性能を表示するように努めることが求められています。具体的な表示方法は、建築物の省エネ性能表示のガイドラインに定められており、BELSは同ガイドラインに基づく、第三者認証制度となっています。

②職場環境の整備

宮田建設株式会社は、社員のエンゲージメント向上のため「一般事業主行動計画」をホームページで公表し、以下の項目のような女性や子育て世代が安心して働ける職場環境の整備及び多様な働き方の整備に積極的に取り組んでいる。

- ・ 妊娠中や出産後の女性労働者の健康の確保について、労働者に対する制度の周知や情報提供および相談体制の整備の実施
- ・ 男性の子育て目的の休暇の取得促進
- ・ 女性労働者の育成に関する管理職研修等の取組
- ・ 始業・終業時刻の繰上げ又は繰下げの制度
- ・ 年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施

2. KPI の選定

(1) KPI の概要

- ・ KPI は当社における CO2 排出量の Scope1、2（総量・原単位ベース）の削減率である。

3. SPT の設定

(1) SPT の概要

- ・ SPT は 2025 年 3 月期との対比で、2030 年 3 月期に CO2 排出量を 22%以上削減する。
- ・ CO2 排出量の判定は決算期毎とし、初回判定は 2026 年 3 月期とする。基準年は 2025 年 3 月期とする。**(2024 年度の CO2 排出量 (Scope1、2) : 61.14t-CO2)**
- ・ 当社の CO2 排出量の約 8 割が車両に使用する燃料（ガソリン・軽油）であるが、企業全体で CO2 排出量削減に取り組むために本 SLL では電気、ガソリン、軽油、LPG による CO2 排出量を SPT の基準とする。

SPTs の目標値（単位：t-CO ₂ ）					
決算期	2026 年 3 月	2027 年 3 月	2028 年 3 月	2029 年 3 月	2030 年 3 月
目標値	58.93	56.80	54.75	52.78	50.87

(2) SPT の野心性

①SPT の水準感

- ・ 当社は、2026 年 3 月期より 2030 年 3 月期まで、2025 年 3 月期比で 3.6%/年の CO2 排出量削減を本ローンの SPT として設定した。当社全体の CO2 排出量の約 8 割を占める事業活動で使用する車両等の燃料の消費により発生する CO2 排出量を SPT の基準としていることより、2021 年 10 月に閣議設定された「地球温暖化対策計画」において示された「業務その他部門」におけるエネルギー起源 CO2 排出量削減量※を基準とした。

※2030 年に 2013 年度比 51%削減（2013 年から 17 年間 51%、3.0%/年の削減）

②SPT の達成手段

- ・ 営業車の電動化、省エネ運転励行、社内での省エネ周知と行動の徹底

③SPT の野心性

- ・ 2025 年 3 期を基準として、2026 年 3 月期から 2027 年 3 月期まで、毎年 3.6.%の CO2 排出量削減を目標としている。年 3.6%の削減目標は、政府の削減目標に求められる水準である削減率 2.7%を超えていて十分に野心的といえる。

(3) SPT の妥当性

- ・ 福岡ひびき信用金庫は当社との対話や提出資料に基づき SPT を設定した。設定した SPT はひびしん SLL の想定する CO2 排出量削減の基準を満たすものである。

4. ローンの特性

- ・ 目標達成時に優遇金利を適用することで CO2 排出量削減を動機付けている。
- ・ 目標未達成の場合は融資金利の優遇は行わず、金利据え置きとする。
- ・ 融資実行後の排出量削減目標達成時に、融資金利を 0.2%引き下げる。

- ・引き下げ後も目標未達成の翌年は優遇金利の適用を行わず、翌年の判定時期まで金利を引き上げるものとする。
- ・上記のようなローン設計により、貸出条件と当社の SPT に対するパフォーマンスが連動しており、SPT の目標達成のインセンティブとなっている。

5. レポートニング

- ・当社は福岡ひびき信用金庫に対し年 1 回、SPT の達成状況について報告する。

6. 検証

- ・KPI の実績値に関して、当社は第三者機関から検証を受けたレポートニング資料等を福岡ひびき信用金庫に報告する。
- ・福岡ひびき信用金庫はレポートニング資料等の内容から SPT 達成の判定について評価する。